

特定健診用 オプション検査一覧

当日受付時追加可能

検査項目	検査対象	料金(消費税10%込)
血液検査	肝臓がん (AFP PIVKA-II)	2,750 円
	膵臓、胆道がん (CA19-9 DUPAN-2)	2,750 円
	前立腺がん (PSA)	2,200 円
	卵巣、子宮がん (CA125 SCC)	2,750 円
	腫瘍マーカー 消化器系セットマーカー (大腸・胃・胆道・膵臓・肝臓) (CEA AFP CA19-9)	3,850 円
	男性セットマーカー (大腸・肺・胃・膵臓・胆道・肝臓・食道・前立腺) (CEA AFP CA19-9 CYFRA SCC PSA)	9,350 円
	女性セットマーカー (大腸・肺・胃・膵臓・胆道・肝臓・食道・卵巣子宮・乳) (CEA AFP CA19-9 CYFRA SCC CA125)	9,350 円
慢性心不全バイオマーカー (NT-ProBNP)	2,200 円	
胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類) ★ピロリ菌除菌歴のある方はお申し込み出来ません。	4,400 円	

検査詳細等は 別紙専用リーフレット ご参照ください	血液検査	脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査 LOX - index	12,980 円
		アレルギー検査	【各種セット検査あり】 2,310 円～
		大腸がんリスク検査	Prodrome - CRC 13,200 円
		膵臓がんリスク検査	Prodrome - PAC 13,200 円
		お得な Prodrome 2 検査セット	24,000 円
	腸内環境検査 <small>19,800円が!! プライスDOWN</small> 腸内フローラ検査 (専用容器に採便し送るだけ)	16,940 円	

③検査結果報告について

健康診断の結果とは別に、それぞれ検査の専用用紙にて後日結果提出を行うものがあります。

各オプション検査内容

◆腫瘍マーカー (がん反応)

腫瘍マーカーとは悪性腫瘍の際に上昇する血液中の成分で腫瘍の存在、種類、進行度の推定に役立ちますが、正常組織でも作られており、癌に特異的とは限りません。

陽性＝がん ということでも無く、陰性＝がんで無いとも言えるものではありません。陽性であれば癌の疑いが有るので、「二次検査を受けた方が良い」と理解して下さい。

腫瘍マーカー	検査内容
CEA	消化器系の腫瘍を中心に用いられるが、広範囲の癌で上昇。大腸癌、肺癌、胃癌、胆道癌等で有用。常習喫煙者でも上昇。
AFP	肝細胞癌に特異性が高い。ウイルス肝炎、肝硬変でも陽性となるが、悪性化の経過観察に有用。妊娠後期でも上昇。
CA19-9	膵臓癌に特異性が高いが胆道癌にも有用。膵炎、胆石、卵巣のう腫等の良性疾患でも上昇。
DUPAN-2	膵癌、肝胆道癌に有用。肝臓、膵臓等の良性肝疾患でも上昇。
CYFRA	肺癌 特に扁平上皮癌で上昇。良性の呼吸器疾患でも上昇。
PIVKA- II	肝細胞癌で上昇するが、AFP とは相関しない。AFP より感度は低いが特異性は高い。薬剤（ワーファリン）使用時に上昇。
PSA	臓器特異性が高く前立腺癌の早期発見に有用。前立腺肥大でも上昇。
CA125	卵巣癌、子宮体部癌に有用。子宮内膜症、卵巣のう腫等の良性疾患や妊娠でも上昇。
SCC	子宮頸癌のほか肺癌（扁平上皮癌）、食道癌に有用。

◆慢性心不全 バイオマーカー (NT - proBNP)

心臓の筋肉の伸展刺激や内圧上昇といった心臓に負担がかかっている時に分泌されるホルモンです。疲れやすい、動悸、息切れ、むくみといった症状のある方や虚血性心疾患、弁膜症、心筋症、不整脈のほか、高血圧、糖尿病等による“隠れ心不全”の発見に有用なバイオマーカーです。

◆胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類)

ピロリ菌感染の有無を調べる「ヘリコバクター・ピロリ抗体検査」と胃炎の有無を調べる「ペプシノーゲン検査」を組み合わせて「胃潰瘍や胃がん等の胃の病気の危険度を A 群 = 低リスク群(感染なし、胃炎なし) B 群 = 中リスク群(感染あり、胃炎なし) C 群 = 高リスク群(感染あり、胃炎あり) E 群 = 除菌群(ピロリ菌の除菌治療を受けた方) に分類するものです。胃がんそのものを見つける検査ではありません。



一般財団法人 ハスカップラザ
苫小牧市保健センター